

紹介受診重点医療機関の選定について（宇部・小野田医療圏）

資料 3

1 基準と意向が合致するもの ※県HPにおいて医療機関名、所在地等公表予定（8月1日付）

	医療機関名	①基準の確認 〔初診40%以上かつ再診25%以上〕	②意向	選定の 方向性	病床数	備考
1	山口宇部医療センター	○（初診83.6% 再診42.8%）	○	○	335	
2	山口大学医学部附属病院	○（初診56.2% 再診28.4%）	○	○	713	特定機能病院
3	宇部興産中央病院	○（初診74.1% 再診25.7%）	○	○	384	地域医療支援病院
4	山口労災病院	○（初診78.7% 再診27.4%）	○	○	313	地域医療支援病院
5	山陽小野田市民病院	○（初診41.2% 再診27.8%）	○	○	215	

2 基準と意向が合致しないもの（要協議）

	医療機関名	①基準の確認 〔初診40%以上かつ再診25%以上〕	②意向	選定の 方向性	病床数	備考
1	宇部仁心会病院	○（初診85.1% 再診51.4%）	×	要協議	47	
2	セントヒル病院	○（初診78.9% 再診57.0%）	×	要協議	184	
3	厚南セントヒル病院	○（初診77.3% 再診66.3%）	×	要協議	80	
4	医療法人仁心会南園クリニック	○（初診61.1% 再診43.0%）	×	要協議	19	有床診療所

3 基準と意向が合致しない理由について

医療機関名	紹介受診重点医療機関となる意向がない理由
1 宇部仁心会病院	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析患者に対する療養及び心臓カテーテルを中心とした急性期医療を担っている。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(透析診療)に伴うもの。 ・また、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関の選定を受けるのではなく、透析患者・心臓疾患患者への診療を中心に現状の医療機能を保持していくことが適当と考える。
2 セントヒル病院	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担うこととし、4機能のうち急性期が中心である。血液浄化治療(透析)やPET-CTを中心に当院に特徴のある部分を活かして更なる地域貢献のできる体制作りをしていく。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目(透析)の特性や高額医療機器・設備等の検査外来実績等に伴うもの。 ・また、当院理念として、地域に根差した医療提供を目指しており、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関ではなく、かかりつけ医機能を保持していくことが適当と考える。
3 厚南セントヒル病院	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析治療を主とした泌尿器科の診療が中心、一般病棟、療養病棟を持つケアミックスの病院であり、4機能で言えば慢性期寄りに位置する。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(人工透析治療、放射線治療(サイバーナイフ))に伴うもの。 ・また、当院理念として、地域に根差した医療提供を目指しており、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関ではなく、かかりつけ医機能を保持していくことが適当と考える。
4 医療法人仁心会南園クリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析患者に対する療養、外科的治療を要さない急性期脳卒中患者に対する療養、在宅医療を提供している方への療養が中心である。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(透析診療)に伴うもの。 ・また、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関の選定を受けるのではなく、透析患者・脳疾患患者への診療を中心に、一般的な内科系疾患への診療も継続し、現状の医療機能を保持していくことが適当と考える。